

宮城県石巻北高等学校—各系列の学習

1 食農系列

〔ねらい〕 作物や野菜，草花の栽培に関する知識について学ぶ。また，食品製造実習を通して，食品の加工や，食品を衛生的に取り扱うことのできる安全管理能力を身につける。

〔特色ある学び〕

- ・水産高校・特別支援学校・小学校・保育所との交流（農業の多面的機能）
- ・「作物・野菜（3年）」で栽培した米や野菜を，「食品製造（2・3年）」で加工に取り組む。（農業の6次産業化）
- ・「草花（3年）」で栽培した花を活用し，地域やボランティア団体と連携しながら，支援活動を行う。



宮城水産高校との交流



パン製造

2 家庭系列

〔ねらい〕 家庭科専門科目で行われる実習・実験や地域の施設訪問などを通して，衣食住，保育，看護や介護などに関する知識や技術を体験的に学び，家庭や社会生活における実践力を身につける。

〔特色ある学び〕

- ・専門科目の豊富な実習・実験や家庭科技術検定の資格取得への取り組みを通して，専門的な知識・技術を習得する。
- ・「家庭クラブ活動」や「課題研究」の学習を通して，家庭や学校，地域社会の課題を解決する能力や創造性を養う。
- ・保育所や福祉施設への訪問を通して，進路意識を高め，実践的な能力を育てる。



外部講師による出前授業「明日親教育」



家庭科技術検定食物2級検定

3 経情系列

〔ねらい〕 経営・経理・販売・PC・ビジネスマナーなど，ビジネスに必要な専門知識の学習を通して社会に貢献しようとする態度を身につける。また，学習活動を通して将来の地域のスペシャリストを育成する。

〔特色ある学び〕 2年次では，「簿記」「ビジネス基礎」「情報処理」の学習を通して，ビジネスについての基本的な知識・技術を身につける。3年次ではより専門的な科目の学習を通して，企業の即戦力となりえる人材を育成する。



人材育成講話



「とらまい」での会計の様子

4 教養系列

〔ねらい〕 普通教科を重点的に学習し、一般教養を広く身につけ、地元企業の求める資格を積極的に取得し、希望する進路の達成を目指す。また、芸術科目を重視し、豊かな感性を育てる。

〔特色ある学び〕

- ・三年間の芸術科目（音楽・美術）
- ・「食と農（2年）」・「環境概論（3年）」（学校設定科目）⇨農業科の授業
- ・「ビジネス基礎（2年）」・「ビジネス実務（3年）」⇨商業科の授業



キャリアアップ講座



クレペリン学習

5 進学系列

〔ねらい〕

「国立大学推薦入試、私立大学推薦入試・一般入試・公務員試験で合格できる学力」「進学先での学習に対応できる学力」を養う。

〔特色ある学び〕

- ・1年次では、進学希望者を対象に、受験に向けた心構えと学習習慣の確立をねらい、「進学希望者クラス」を1クラス編成している。
- ・進路希望の実現と学習習慣の確立を目指し毎日の朝学習、放課後学習会を行う。
- ・推薦入試に対応するため、小論文講座を設け、文章力と論理的思考力を養う。
- ・自分の実力を測り、進学へ向けての意識を高めるために模擬試験を実施する（年3回）。
- ・1年次進学クラス及び2・3年次進学系列の生徒を対象に、国・数・英の実力テスト（共通問題）を隔月実施し、結果を掲示することで、お互いを高め合える学習環境をつくる。



オープンキャンパスでの授業



放課後学習会

6 系列選択

このように、本校総合学科は、「系列選択＝科目選択」という要素が強い。従って、1年次生に対して、「産業社会と人間」を中心に、系列選択への指導を行っている（図1参照）。

図1 1年次系列決定までのながれ

年月日	主な学習内容
4・5月	<ul style="list-style-type: none"> ・総合学科オリエンテーション ⇨系列概要と“放課後ゼミ”ガイダンス ・「産業社会と人間」ガイダンス ⇨以降、目指す進路やそのために必要な系列選りについての学習を進める。 ・「系列探究」 ⇨各系列のカリキュラムや先輩の進路先などについて探究学習を行う。
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒対象「系列説明会」 ・第1回系列選択仮調査
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・学級面談（系列選択相談を含む）
8～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・系列体験学習会（⇨1）を参照
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回系列選択仮調査
2日（金） 3日（土）	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対象「系列説明会」（2日間実施） ⇨2）を参照
9月中旬～ 10月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・二者面談 ⇨各自の希望系列の最終確認
9月30日（月） ～5日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・系列選択本調査（最終調査）
11月以降	<ul style="list-style-type: none"> ・系列最終決定に向けた調整作業 ⇨施設・設備の関係から人数に上限を設ける系列（食農系列・家庭系列・経情系列は上限40名）で、希望人数がその上限を超える場合は調整する。
12月 ～翌年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒及び保護者への系列決定通知 ⇨これ以降の系列変更は認めていない。

1) 系列体験学習会

〔ねらい〕 1年次より系列に関わる専門的な学習内容にふれ、間違いのない系列選択と進路選択を行えるようにする。

〔実施方法及び内容〕

- ・ 8月末から9月上旬の「産業社会と人間」の時間に実施する。
- ・ 5系列の学習を各自一回ずつ体験させる。
- ・ 一回の体験学習を50分間とし、各クラス単位のローテーションで実施する（図2を参照）。



経情系列（「情報処理」の授業を体験）



教養系列（「Literas（論理言語力検定）」等を体験）

図2 系列体験学習会ローテーション表

	食農	家庭	経情	教養	進学
第1回	1組	3組	2組		4組
第2回	4組	2組		1組	3組
第3回		4組	1組	3組	2組
第4回	2組	1組	3組	4組	
第5回	3組		4組	2組	1組

・ 学習内容については、「系列のガイダンス」や「実習及び演習」等、可能な限り体験的な要素を組み込んだ内容とする。

※5回の体験学習会を経て、第2回系列仮調査を行う。



進学系列（「公務員対策問題」を体験）



食農系列（「食品製造室」を見学）



家庭系列（「ファッション造形基礎」の授業体験）

2) 保護者対象系列説明会

〔ねらい〕 保護者に対して、系列選択に関する適切な情報を提供することで、保護者への系列の理解を深めると共に、各家庭における系列選択の話し合いとその最終決定を円滑に進められるようにする。

〔実施内容〕

- ・ 9月中旬に実施する。
- ・ 「系列の学習活動」をはじめ、「交流ひろば販売所」、「放課後活動」及び「系列決定までのながれ」等について説明し、系列最終決定に向けた情報収集の場とする。